

【施設状況】

グループ名称	川中島町公民館、分館(川中島、中津、御厨)							
指定管理者名	川中島地区住民自治協議会				法人番号	3700150073961		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3328	川中島町公民館						
	3326	川中島町公民館川中島分館						
	3325	川中島町公民館中津分館						
	3327	川中島町公民館御厨分館						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【本館】多目的ホール(講堂) 1、和室 1、調理室(実習室) 1、会議室(大中小) 各 1、図書コーナー 1 【御厨分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1 【川中島分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1 【中津分館】大会議室(会議室) 1、小会議室(和室) 1、料理教室 1							
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。							
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	川中島地区住民自治協議会			指定回数	1 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和2年3月31日	3年	管理運営開始日	平成29年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	本館 利用者数	人	36,930	34,173	34,624	35,236	102%	
	本館 利用率	%	33.3	33.1	30.8	33.7	109%	
	分館(3館) 利用者数	人	29,172	31,562	34,454	32,053	93%	
	分館(3館) 利用率	%	21.0	18.6	18.0	19.8	110%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・川中島町公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・川中島町公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の收受に関する業務 ・川中島町公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務 						
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館報 3回/年 発行。ホームページを立ち上げ、公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、館内の掲示物を工夫して、視覚を通して訪問者に呼びかけを行い新規利用者の増加につなげた。また主催講座は定員制をやめ、入場制限をなくすことで多くの市民が参加した。 							

3

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。		
(3) 調査、会議等の結果 【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】 「川中島大学⑩ 講演 武田徹のハーモニカトーク」 募集120人 受講者243人中122人から回答 満足:50.2% やや満足:2.5% 無回答:47.3% 「元気が出る麻雀講座」 募集256人 受講者187人中22人から回答 満足:34.4% やや満足:9.4% 無回答:56.3% 「北沢マロとジャンベを楽しむ」 募集90人 受講者78人中15人から回答 満足:66.7% やや満足:13.3% 無回答:20.0%			
利用者評価	(1) 良好とする評価 「川中島大学⑩ 講演 武田徹のハーモニカトーク」 テレビ局のアナウンサーを講師に招き昭和歌謡をストーリー仕立てにした講演で多くの受講者が参加し好評であった。 「元気が出る麻雀講座」 麻雀はフレイル予防にもなり興味がある参加者が多く好評であった。 「北沢マロとジャンベを楽しむ」 地元出身の演奏家を招き、プロの演奏を聴きながら普段触れることのない楽器を演奏することができ好評だった。また、受講者が成人式で学びの成果を披露し、新成人の門出を祝福した。		4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 1 分館の利用について、利用者の清掃が不徹底であった。 2 住民自治協議会の貸館について柔軟に対応してほしいとの要望があった。 3 申請期日の特例について、利用者から要望があった。 4 一部の利用団体の利用について苦情が寄せられた。		
利用者からの評価・要望・苦情等		≪対応措置≫ 1 分館は常駐の職員がいないため、利用後は次に利用する利用者の気持ちになって使用してもらうよう利用者に説明した。 2 長野市立公民館使用許可にあつたての申請期日の特例を定める内規を説明し、理解いただいた。 3 公民館は社会教育施設のため、その利用について説明し理解いただいた。 4 一部の利用団体について、苦情内容を説明し、今後公民館を利用する際は、ルールを守って利用いただくよう依頼した。	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	18,584,000 4,034,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	18,584,000 2,817,624	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	94,750 37,550 20,833	
計	22,618,000	計	21,401,624	計	153,133	計	78,343		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	9,776,127 1,324,200 300,000 4,080,000 3,337,000 2,461,372 1,339,301	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	9,713,222 1,353,431 38,000 427,939 3,908,244 2,330,126 2,366,736 952,600	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	18,584,000 121,525 396,360 31,525	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	17,326,000 121,525 396,360 31,525
計	22,618,000	計	21,090,298	計	18,584,000	計	17,875,410		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		311,326	差引	-18,430,867		-17,797,067	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								46.1%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	1 地域の諸団体(区長会・青少年育成連絡協議会等)、小中学校、法人等と講座企画・会議・催事等を通じて連携し、企画運営を行う。 2 公民館職員は、市内在住者を基本とし、可能な限り地元からの採用に努める。 3 本館と地域公民館とで地域情報を共有して連携を深める。 4 住民自治協議会と連携協力して、地域に根ざした活動を企画実践する。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>地元出身の音楽家を招き、プロが演奏する音楽を鑑賞する講座を開催するとともに、その演奏家を講師に招きジャンベを学ぶ講座を開講した。前記講座で学んだ受講者が地区の成人式にその成果を披露し、成人式の門出を祝った。学び、発表する場の提供を行うとともに、講座受講者、成人式参加者から好評であった。多くの事業後のアンケートも好評であることを評価し「利用者評価」を「4」とした。</p>		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>新しい生活用様式を取り入れ、質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。</p>		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

本館・分館の貸館利用、本館の図書館利用についてのサービス向上に向けて次の取組みを行った。

- ・成人学校、主催講座、貸館業務、図書館業務等について利用者アンケートを実施した。
- ・電話等の対応において適切で丁寧な対応に心がけた。
- ・修繕箇所が発生した場合には速やかに対応した。
- ・地域や社会の情勢を鑑み一部地域人材を講座の講師にお願いした。
- ・館内外の植木・生垣の剪定や芝刈りなど職員の努力により環境の整備を図った。
- ・主催講座の定員枠を外して誰もが参加できるよう工夫した。
- ・ホームページを活用して情報を提供した。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・住民自治協議会より交付される地域公民館交付金の受け渡しを窓口対応でなく、各地域公民館の口座に振り込み、業務の効率化を図るよう整備した。
- ・地域公民館行事であるスポーツの祭典(ソフトボール、野球、女子バレーボール)は地域公民館にアンケートを実施し、実情に合わせたスポーツを検討している。
- ・人権教育促進協議会が主催する研修会や地域公民館毎の住民の集いの在り方を検討する。

③ その他

- ・地域交流のため、成人式では新成人をお祝いするイベントとして川中島町のプロモーションビデオを作成し放映した。また、地域の小学校の金管バンドにアトラクションや地域出身のパーカッショニストの北沢マロさんとジャンベの仲間たちによる出演を依頼して新成人をお祝いをした。ジャンベ演奏のメンバーには、川中島町公民館の講座で練習を積んだ受講生も参加した。地元の講師を招いたり地域の小中学校の子どもたちの活躍の場を設けたりして支援を行いつつ、地域住民が子どもたちを支えていく場の提供や活動を考えていく。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・指定管理者制度を受けた川中島町公民館の在り方を検討する。
- ・本館の図書利用については受付管理をバーコード化して業務の効率化を図る。
- ・分館の維持管理運営については耐震化を含めて老朽化している。2階に活動拠点があるため高齢者が利用するには不便である。
- ・二つの団体事務(地域公民館連絡協議会、人権教育促進協議会)の運営については本来、住民自治協議会で行うものである。
- ・川中島町公民館運営委員会との連携の在り方について、川中島町公民館運営委員会は住民自治協会の組織として位置付けられているので住自協との連携がかかり方が難しい。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

公民館職員間及び住民自治協議会と連携し、計画を遂行することができた。

② 次年度以降の取組み

4年目を迎える指定管理者制度において3年間の実績と経過、課題を整理して取り組みたい。特に今年は住自協で提案している川中島町「まちづくり計画」5か年計画の初年度にあたり、「教育文化部会」に川中島町公民館の活動内容が盛り込まれているので連携と協力をしていく。

- ・危機管理対応について(水害、災害、地震、新型コロナウイルス)等マニュアルの作成。
- ・分館(中津分館、川中島分館、御厨分館)の管理運営について。
- ・住民自治協議会や老人保健施設と連携したフレイル予防講座等の実施。